4 物語2

単元のねらい

◆昔の人の恋のあり方について理解し、歌物語に親しむ。
◆同じ和歌を主題とした異なる物語を読み比べる。
◆想像力を働かせ、人物の心情を考える。

・恋と愛をテーマとした章段から、平安期の人々の生き方を読み取り、和歌が軸となって展開する歌物語に親しむ。
・同じ和歌を主題とした「筒井筒」（伊勢物語）と「沖つ白浪」（大和物語）を読み比べ、それらの共通点や相違点を指摘させる。
・視点を変えて物語を書き換えることで、人物の心情をより深く捉えさせ、想像力を豊かにする。

歌物語を通して、我が国の文化と精神史を学ばせ、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにすることをねらいとしている。

単元の構成

比較的平易な歌物語である「伊勢物語」より、四教材を取り上げた。「芥川」はいかにも王朝的な説話で当時の愛というものの一つの形を示している。「東下り」は愛と旅がテーマになっており当時の風習、習慣なども興味深く学ぶことができる。「筒井筒」は幼なじみの恋の成就という前半と男を想う妻の歌が男の愛を取り戻したという後半から成る。「梓弓」は男と女の愛情の問題を主題としている。また、読み比べ教材として「筒井筒」と同じ和歌を主題とする「大和物語」より、「沖つ白浪」を取り上げた。

「古文の窓３　平安文学の恋」では、「かいま見」や「懸想文」「露顕」など、平安文学における恋の始まりから結婚までの過程と文化について解説している。

「単元の言語活動４　視点を変えて、物語を書き換える」では、女の視点で語られている「梓弓」のその後の物語を、男の視点で書き

換えることを通して、物語への理解を深める。